

ナシのせん定枝で作った炭をナシ園で利用する

毎年ナシ園からは10a当たり60～100kgのせん定枝が切り落とされます。これまでは切り落とされた枝は空き地で燃やして処分してきました。

このようなナシのせん定枝は、チップにしたり、もみがらを加えたりすると簡易な方法で炭にすることができました。炭にすると白紋羽病の発生を促す恐れがなくなるので、ナシ園に安心して利用することが出来ます。炭をナシ園に施用すると苗木の生育が促進されたり、果実品質が向上したりします。



せん定するとたくさん不要な枝が出ます。



チップパーで枝を細かくします。



このようになります。



くん炭器で炭にします。



チップ炭の出来上がりです。



もみがらを使ってくん炭用煙突でも作れます。



ナシの苗木です。



植え付けのときに炭と堆肥を混ぜると生育が旺盛になります。



たこつぼ状に掘った穴に炭を入れるとナシの味が良くなりました。